

社会には、外国から来た多くの隣人や同僚、パートナーなど、多様な社会的背景(出身国・地域や考え方など)をもった人々があります。日本にとって彼らとともに暮らし働く、多文化協働(共生)社会の構築は不可欠です。しかし、日本(とくに茨城県)では、こうした社会の構築が遅れています。いま、多文化協働(共生)社会を創造できる若い人材が求められています。



外国人 児童生徒 支援演習

公開講座

在学生・社会人対象

受講料 15,000円(社会人のみ)

	10月4日(土)	10月25日(土)	11月8日(土)	11月29日(土)
	文化交流学科 教授 中山 健一	文化交流学科 兼任講師 山田 野絵	文部科学省地域日本語教育アドバイザー 茨城県地域日本語教育推進員 仙波美哉子	文化交流学科 准教授 勝山 紘子
2限	10:20 ~ 11:50 全体概要説明、受講者自己紹介	「やさしい日本語」概説	茨城県内の外国人児童生徒への日本語支援の現状	「やさしい日本語」にしてみよう①
3限	12:40 ~ 14:10 日本語教育・日本語学習支援に求められること	「やさしい日本語コミュニケーション」:「やさしい日本語」と「やさしい傾聴」	外国人児童生徒の日本語支援の課題(ケーススタディ)	「やさしい日本語」にしてみよう②
4限	14:20 ~ 15:50 日本語教育・日本語学習支援の多様性	「やさしい日本語」ワークショップ	地域日本語教育と外国人児童生徒への日本語支援	「やさしい日本語」にしてみよう③
5限	16:00 ~ 17:30 国内の在住外国人の概要:年少者を中心に	「やさしい傾聴」ワークショップ	多文化共生社会と外国人児童生徒への日本語支援	全15回

主催・お問合せ

茨城キリスト教大学
地域・国際交流センター

メール:
kokaikoza@icc.ac.jp
電話:
0294-52-3215(代)

申し込みフォームは
こちらから(社会人の方)

